

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田市寺内大小路 207-38
名称 秋田日産自動車株式会社
代表者 代表取締役社長 富樫 俊

秋田日産自動車株式会社

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

我々の理念に掲げる 安全・安心・快適をすべてのお客様とその地域に対して、従業員全員で提供していくことを目指します。廃棄物処理の適正化と最小限化すること 最新技術の自動車の提供 それらを従業員参加型で知恵を絞り、働き甲斐があり元気で魅力ある地域社会の実現に貢献していきます。

| 3 側面 (主な分野に☑) | SDGs 達成に向けた 重点的な取組 | 2030 年に向けた 指標 | 重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R4年 1月 17日</small> | 関連する主な SDGs ゴール (最大3つ) |
|---|----------------------------|---|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境 | 社会環境課題への積極的取組（日産グリーンプログラム） | CO2 排出量の抑制 リビルト品・グリーンパーツの積極的な活用 使用エネルギー量の削減 (廃棄物 電気 ガス 上下水道 燃料等) 前年比 5% | 全休日（定休日）の増加やグリーンプログラムの取組強化に伴い、使用エネルギー量前年比約 3% の削減に成功。 | 7 1 2 1 3 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境 | 安心安全な社会への積極的な安全装置付きのクルマの拡販 | ゼロ・フェイタリティを目標とし安全な車の販売・安全運転への意識向上 (基本的に全ての見積書に対して提案) | 電気自動車及び e-POWER 車、360°セーフティアシスト搭載車の拡販。新車代替時の全ての見積書に対して提案。 | 7 8 9 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 環境 | 日々の活動の改善等を通じ働き甲斐のある会社を目指す | グループ討議 業務改善提案 サンクスポスト 企画提案を活用し従業員が全員参加型の会社作り | 優れたアイデアや改善提案を積極的に表彰し、全拠点へ展開することで、声を上げやすい会社作りを推進。 | 4 8 1 6 |

| ゴール 番号 | 内容 | アイコン |
|-----------|---------------------|---|
| 1 | 貧困をなくそう |  |
| 2 | 飢餓をゼロに |  |
| 3 | すべての人に健康と福祉を |  |
| 4 | 質の高い教育をみんなに |  |
| 5 | ジェンダー平等を実現しよう |  |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に |  |
| 7 | エネルギーをみんなに、そしてクリーンに |  |
| 8 | 働きがいも経済成長も |  |

| ゴール 番号 | 内容 | アイコン |
|-----------|-------------------|---|
| 9 | 産業と技術革新の基盤をつくろう |  |
| 10 | 人や国の不平等をなくそう |  |
| 11 | 住み続けられるまちづくりを |  |
| 12 | つくる責任、つかう責任 |  |
| 13 | 気候変動に具体的な対策を |  |
| 14 | 海の豊かさを守ろう |  |
| 15 | 陸の豊かさも守ろう |  |
| 16 | 平和と公正をすべての人に |  |
| 17 | パートナーシップで目標を達成しよう |  |